

総務教育常任委員会資料

(平成24年5月21日)

〔件名〕

- ・平成24年度第1回未来づくり推進本部会議の開催について

【未来戦略課】 ···· 1

- ・国際まんが博発表会見・まんが王国とっとり王女即位式典の開催について

【未来戦略課】 ···· 13

未来づくり推進局

平成24年度第1回未来づくり推進本部会議の開催について

平成24年5月21日
未来戦略課

未来づくり推進本部に設置した各プロジェクトの活動を加速させるため、以下のとおり、平成24年度第1回未来づくり推進本部会議を開催しました。

1. 会議開催概要

- (1) 日 時 4月27日(金) 午後3時~4時
(2) 場 所 第三応接室
(3) 出 席 本部長 知事
副本部長 副知事、統轄監
本部員 知事部局各部局長、教育長、企業局長(計15名)
※当日の会議資料は別添のとおり。

2. 本部会議における議事概要

- (1) 未来づくり推進本部に設置するプロジェクト体制(全12プロジェクト)を変更
・本県における原子力防災体制を計画的に整備していくことを目指して、「原子力安全対策プロジェクト」を新設した。
・県民一体となった取組による「国際まんが博」の成功を目指して、「まんが王国とつり建国緊急プロジェクト」を「国際まんが博プロジェクト」に改編した。
- (2) 各プロジェクトが進める24年度の取組みについて意見交換
・各プロジェクトが4月中にスタートアップしたことを確認するとともに、県民参画による検討を速やかに進めていくこととした。
《本部会議後の主な検討(PT開催)状況》
[5月 9日 原子力安全対策プロジェクト会議
5月 10日 ようこそようこそIJU2千人推進プロジェクト合同WG部会
5月 22日 雇用創造1万人推進会議]
・再生可能エネルギーの固定価格買取制度導入への対応等PT間を跨る政策課題についても、議論を活発化させるなど対策を強化していくこととした。
- (3) 政策項目の進捗状況について意見交換
・知事任期中に達成すべき政策項目(全104項目)の1年目自己評価結果(暫定版)について意見交換を行い、進捗が遅れている項目への対策について、重点的にテコ入れしていくことを確認した。

《政策項目の1年目自己評価(評価区分別であり暫定版)》

評価の分類	項目数	主な政策項目
A : 既に達成	6	● 少人数学級対象学年を拡充 ● 鳥取環境大学の抜本改革 ● 全国豊かな海づくり大会 5万人の来場 等
B : 順調	67	● 高速道路整備を着実に推進 ● 4月1日待機児童ゼロを継続 等
C : やや遅れている	29	● EV工場開業やバイオ企業立地による県内経済高度化 ● 全国平均を上回る有効求人倍率を達成 ● 国内航空路線等の拡充 等
D : 遅れている	2	● がん検診の受診率向上とがん死亡率の改善 ● 大学進学率を50%以上に引き上げ

平成24年度 第1回未来づくり推進本部会議

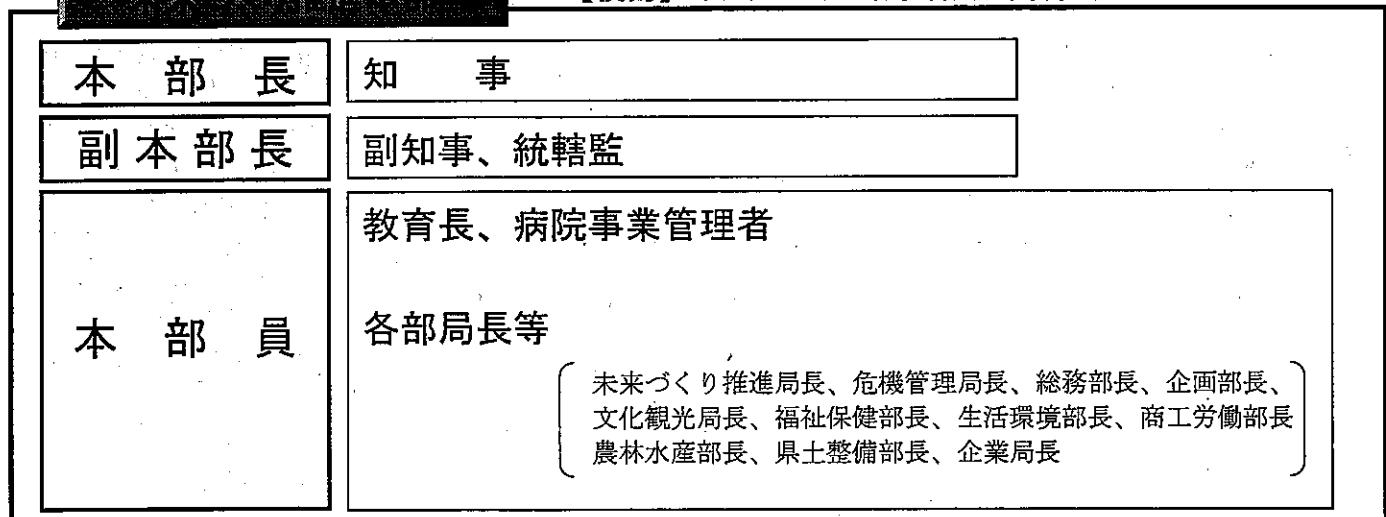
日 時 平成24年4月27日(金)
午後3時～
場 所 第三応接室

1. 開 会
2. あいさつ
3. 議 事
 - (1) 各プロジェクトチームの活動方針（24年度）について
 - (2) 政策項目の進捗状況について
4. 閉 会

1

未来づくり推進本部の構成・役割

⇒【役割】◆アジェンダ・政策項目の実現・推進と進行管理



若手政策研究チーム

※ 事務局：未来づくり推進局未来戦略課 2

未来づくり推進本部の運営

本部会議

- ◆アジェンダ・政策項目の実現に向けて推進するとともに進行を管理するために、本部会議を開催。(年数回)
- ◆各プロジェクトチーム等は、本部会議の開催を待つことなく、幹部会議等を利用しながら本部長に隨時報告・協議することにより、機動的に取り組みを進める。

プロジェクトチーム等

- 部局横断的なPT設置が有効な政策項目、県民・民間等の参画が有効な政策項目等についてプロジェクトチームを設置。
- チーム長のもとに、関係部局が集結し、機動的に施策を立案・展開。

若手政策研究チーム

- 若手職員の発想・機動力を活かした施策展開をさらに充実。
- 若手職員の政策形成能力を高める。

県民・民間等の参画により、現場の実状に即した施策の立案・展開

▶テーマ1「木質バイオマスの活用策の検討」は5月始動!
▶その他テーマも現在募集中!

3

未来づくり推進本部に設置する「12のプロジェクト」

プロジェクト名	チーム長	主管部局
①雇用創造1万人プロジェクト	統轄監	商工労働部
②食のみやこ・やらいや農林水産業プロジェクト	統轄監	農林水産部
③とっとり環境イニシアティブ推進プロジェクト	統轄監	生活環境部
④北東アジアゲートウェイ推進プロジェクト	副知事	【観光部会】文化観光局
		【物流部会】商工労働部
⑤ようこそようこそIJU2千人推進プロジェクト	統轄監	企画部
⑥国際まんが博プロジェクト	副知事	文化観光局
⑦鳥取力創造運動推進プロジェクト	未来づくり推進局長	未来づくり推進局
⑧「支え愛」まちづくり推進プロジェクト	福祉保健部長	福祉保健部
⑨ボランティア・市民活動推進プロジェクト	未来づくり推進局長	未来づくり推進局
⑩原子力安全対策プロジェクト	知事	危機管理局
⑪鳥取県民参画基本条例検討委員会	未来づくり推進局長	未来づくり推進局
⑫県庁改革推進プロジェクト	副知事	総務部

4

雇用創造1万人プロジェクト

政策項目	雇用創造1万人プロジェクト、中小企業底力アップ																																																						
チーム長	統轄監																																																						
主管部局	商工労働部																																																						
目標・アウトプット	<p>○あらゆる分野で「雇用創造1万人計画の策定」と「計画実現」を目指す 《考え方》・4年間を一つの目標スパンとするが、できるだけ早期の達成を目指す。 ・「商工業」、「農林水産業」、「観光」、「教育」、「福祉」、「医療」などあらゆる分野を対象。 ・民間参画により雇用創造施策の点検・改善。人材育成や雇用ミスマッチ解消策にも目配り。</p>																																																						
【24年度取組方針】	<p>○緊急雇用・経済対策アクションプラン【24年度雇用創出に向けた具体的行動計画】策定・実施 ○PDCAを回して、プロジェクトのフォローアップ【実績把握→施策検証→施策改善・追加】</p>																																																						
【検討スケジュール】	<p><u>4月16日 とっとり経済産業活性化トップミーティング</u></p>																																																						
◆緊急雇用・経済対策アクションプラン(素案)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>4年間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雇用創造目標</td> <td>2,200</td> <td>2,400</td> <td>2,400</td> <td>3,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>緊急雇用</td> <td>2,500</td> <td>1,500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,700</td> <td>3,900</td> <td>2,900</td> <td>3,500</td> <td>15,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H23実績)5月:1次取りまとめ</p> <p>【平成24年度雇用目標】(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>H24アクション</th> <th>前倒し(A)</th> <th>当初計画(B)</th> <th>雇用目標(A)+(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急雇用</td> <td>県による直接雇用100人規模ほか</td> <td>200</td> <td>1,500</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>企業誘致・成長分野</td> <td>事務系企業の誘致・マザーワーク場等誘致など</td> <td>200</td> <td>1,000</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>中小企業支援・人材育成</td> <td>県版経営革新、資金繰り支援による経営力強化など</td> <td>—</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>農林水産・観光・医療・福祉・教育</td> <td>新規就農、まんが博等入込客増、医療人材等確保など</td> <td>—</td> <td>900</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>400</td> <td>3,900</td> <td>4,300</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H23	H24	H25	H26	4年間	雇用創造目標	2,200	2,400	2,400	3,000	10,000	緊急雇用	2,500	1,500	500	500	5,000	計	4,700	3,900	2,900	3,500	15,000	分野	H24アクション	前倒し(A)	当初計画(B)	雇用目標(A)+(B)	緊急雇用	県による直接雇用100人規模ほか	200	1,500	1,700	企業誘致・成長分野	事務系企業の誘致・マザーワーク場等誘致など	200	1,000	1,200	中小企業支援・人材育成	県版経営革新、資金繰り支援による経営力強化など	—	500	500	農林水産・観光・医療・福祉・教育	新規就農、まんが博等入込客増、医療人材等確保など	—	900	900	計	—	400	3,900	4,300
区分	H23	H24	H25	H26	4年間																																																		
雇用創造目標	2,200	2,400	2,400	3,000	10,000																																																		
緊急雇用	2,500	1,500	500	500	5,000																																																		
計	4,700	3,900	2,900	3,500	15,000																																																		
分野	H24アクション	前倒し(A)	当初計画(B)	雇用目標(A)+(B)																																																			
緊急雇用	県による直接雇用100人規模ほか	200	1,500	1,700																																																			
企業誘致・成長分野	事務系企業の誘致・マザーワーク場等誘致など	200	1,000	1,200																																																			
中小企業支援・人材育成	県版経営革新、資金繰り支援による経営力強化など	—	500	500																																																			
農林水産・観光・医療・福祉・教育	新規就農、まんが博等入込客増、医療人材等確保など	—	900	900																																																			
計	—	400	3,900	4,300																																																			
4月19日 1万人庁内PT(アクションプラン検討)																																																							
5月中旬 1万人推進会議(アクションプラン、H23実績・課題等 意見交換)	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 緊急雇用・経済対策アクションプラン策定・実施 ⇒ 1万人庁内PT(課題整理) → 分野別PS会議(施策改善・追加検討) 																																																						
11月 1万人推進会議(次年度追加施策案等意見交換) ⇒	【随時予算化の上、実施】																																																						

5

食のみやこ・やらいや農林水産業プロジェクト

政策項目	「食のみやこ鳥取県」の確立、やらいや農林水産業プロジェクト																
チーム長	統轄監																
主管部局	農林水産部																
目標・アウトプット	○分野別PT(梨、米、和牛などの品目別PTとブランド化、林業、水産業など12のPT)について相互の連携、進捗管理などを行い、魅力ある農林水産業の発展を促進																
【24年度の取組】	<p>○全体会は、分野別PTの検討状況に合わせて、年3回程度(8月、11月、3月)開催予定。</p> <p>○12の分野別PTについては、年度当初から活発に活動。</p> <p>○24年度の具体的な数値目標の達成に向けて、実施計画に沿って推進するとともに、新たな施策も検討していく。(実施可能なものは、年度中途であっても補正等により速やかに実施)</p>																
・取組方針	○各委員からの意見や助言を受けて、各分野別PTにおいて検討し、新たなPTを立ち上げたり、各種施策等へ反映。																
・検討スケジュール	<p>【3つの新たなPTを立ち上げ】 ・野菜(H23年11月設置)、酪農(H23年12月設置)、鳥取地どり(H23年9月設置)</p> <p>【新規施策(H24当初予算)への反映】</p>																
これまでの実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>PT名</th> <th>主な新規施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梨</td> <td>やらいや果樹王国復権事業</td> </tr> <tr> <td>和牛</td> <td>「鳥取和牛オレイン55」ブランド向上推進事業</td> </tr> <tr> <td>酪農</td> <td>がんばる酪農支援事業</td> </tr> <tr> <td>鳥取地どり</td> <td>鳥取地どり増産対策推進事業</td> </tr> <tr> <td>新規就農</td> <td>農林水産コラボ研修支援事業</td> </tr> <tr> <td>緑の産業再生</td> <td>原木しいたけ日本一産地づくり支援事業</td> </tr> <tr> <td>水産業活性化</td> <td>豊かな海づくり事業(養殖調査、井戸海水調査、ハタハタ増殖国際共同事業)</td> </tr> </tbody> </table>	PT名	主な新規施策	梨	やらいや果樹王国復権事業	和牛	「鳥取和牛オレイン55」ブランド向上推進事業	酪農	がんばる酪農支援事業	鳥取地どり	鳥取地どり増産対策推進事業	新規就農	農林水産コラボ研修支援事業	緑の産業再生	原木しいたけ日本一産地づくり支援事業	水産業活性化	豊かな海づくり事業(養殖調査、井戸海水調査、ハタハタ増殖国際共同事業)
PT名	主な新規施策																
梨	やらいや果樹王国復権事業																
和牛	「鳥取和牛オレイン55」ブランド向上推進事業																
酪農	がんばる酪農支援事業																
鳥取地どり	鳥取地どり増産対策推進事業																
新規就農	農林水産コラボ研修支援事業																
緑の産業再生	原木しいたけ日本一産地づくり支援事業																
水産業活性化	豊かな海づくり事業(養殖調査、井戸海水調査、ハタハタ増殖国際共同事業)																

6

とっとり環境イニシアティブ推進プロジェクト

政策項目	とっとり環境イニシアティブ
チーム長	統轄監
主管部局	生活環境部
目標・アウトプット	<p>○本県が目指すべき環境像の実現に向けて、全国をリードするような施策を県民運動的に展開・情報発信する 【重点施策】 ⇒ 「エネルギー転換」、「環境実践の展開(省エネ実践)」、「循環社会(リサイクル推進)」</p>
24年度の取組 ・取組方針 ・検討スケジュール	<p>①とっとり環境イニシアティブの実践に関する周知 県民運動的に取組むために各種媒体やイベント等の機会に周知・情報提供【年間を通じて】</p> <p>②進捗評価委員会による評価・見直し 3つのWGメンバー等、民間参画の進捗評価委員会により、取組みに対する評価及び事業の見直し【6月から順次開催、各WGごとに年2~3回】</p> <p>③工程表と連動した進捗管理 策定したプランの目標進捗を工程表と連動させて推進【年間を通じて／5月に府内会議】</p> <p>④情勢の進展・変化に伴う検討 追加的取組の具現化(耕作放棄地へのメガソーラー誘致、木質バイオマス利用促進等)、インセンティブの具体化(固定買取価格決定に伴う助成等)、事業遅延に伴う対応(新たな風力発電事業の開拓等)について検討</p>
これまでの実績	<p>【エネルギー転換】 日南町へのメガソーラー発電所誘致(候補地公表)、袋川発電所完成(小水力)、住宅用太陽光発電施設導入拡大(H23年度はH22年度の1.6倍導入)など</p> <p>【省エネ実践】 EV普及拡大(H22年度末のべ64台⇒H23年度末のべ138台)、EV用急速充電器設置拡大(県内26基、人口当たり全国一)、レジ袋無料配布中止(東部地域スーパー)など</p> <p>【リサイクル推進】 廃棄物のエネルギー活用(ウエストバイオマス)、市町村における取組拡大(伯耆町の紙おむつ燃料化等)、家庭における実践活動の取組団体拡大(連合婦人会等4団体)など</p>

7

北東アジアゲートウェイ推進プロジェクト(観光部会)

政策項目	北東アジアゲートウェイの推進(外国人観光客を倍増)
チーム長	副知事(副チーム長:統轄監)
主管部局	文化観光局
目標・アウトプット	<p>①国際交通基盤の維持・拡充 ・米子ソウル便 ⇒ 外国人利用者数 H24年度 1万8千人、搭乗率70% ・環日本海貨客船 ⇒ 外国人利用者数 H24年度 3万人 ・国際チャーター便、国際クルーズ船の誘致 ⇒ チャーター便 H24年度 20往復、クルーズ船 H27年度 16便</p> <p>②外国人観光客誘致の推進 ・延べ県内宿泊者数 ⇒ H24年 3万人</p>
24年度の取組 ・取組方針 ・検討スケジュール	<p>【取組方針】</p> <p>①国際交通基盤の維持・拡充 ・韓国向け観光客誘致緊急対策の実施(第1四半期に集中実施) ・山陰国際観光協議会による韓国旅行社への送客支援、ブロガー招請など ・国際チャーター便、国際クルーズ船誘致等による中・台・ロなど新規市場開拓</p> <p>②外国人観光客の誘致 ・国際まんが博、国際マンガサミットの活用 ・官民共同によるニューツーリズム推進 ・観光二次交通整備など外国人観光客が周遊しやすい環境整備</p> <p>【検討スケジュール(予定)】</p> <p>○本プロジェクトチーム ⇒ 年2回(4月開催済、11月頃予定) ○県民参画によるワーキンググループ ⇒ 年3回程度(5~11月頃予定)</p>
これまでの実績	<p>①米子ソウル便外国人利用者数、搭乗率(H22) 13,479人、59.8% ⇒ (H23) 8,445人、57.4%</p> <p>②環日本海貨客船外国人利用者数 (H22) 25,205人 ⇒ (H23) 22,897人</p> <p>③チャーター便、クルーズ船運行実績 (H22) チャーター:8往復、クルーズ:3便 ⇒ (H23) 15往復、1便</p> <p>④外国人延べ県内宿泊者数 (H22) 23,060人 ⇒ (H23) 24,660人</p>

8

北東アジアゲートウェイ推進プロジェクト(物流部会)

政策項目	北東アジアゲートウェイの推進(境港を通じた物流の活性化等)
チーム長	副知事 (副チーム長:統轄監)
主管部局	商工労働部
目標・アウトプット	<p>①中国華北(青島・大連)航路の境港寄港復活、上海航路のファースト・ラストポート化 ②県内企業のニーズにあった貿易支援を展開 ③環日本海貨客船航路運航の安定化 (目標(H24年末)→境港のDBS貨物取扱量前年比60%増。年間10,000トン) ④港湾・施設等の整備促進 (目標①→H30:境港の取扱貨物量530万トン)(目標②→H27:リサイクル貨物8倍増(17万トン))</p>
24年度の取組	<p>①中国華北航路は食品系、上海航路は電機・機械系をターゲットにした県内企業の貨物掘り起こし。 ②とっとり国際ビジネスセンターによる貿易支援の充実、強化(台湾、上海に加え、韓国にもコーディネーターを新規設置し、電機・電子・金型などの完成品、半完成品の販路拡大の推進。) ③ロシア・中国からの資源原料(穀物、飼料、鉱石等)の輸入促進 ④RPF、タイヤチップのトライアル輸送実施</p>
これまでの実績	<p>①境港利活用検討会で企業ニーズが高かった特殊梱包、物流の情報化などの機能を備えた山陰流通トリニティーセンターが運用開始 (利用実績:利用検討中を含め18社) ②境港のDBS貨物取扱量(トペース)は2011年(1月~12月)6,278トンとなり、前年比45.3%、1,958トン増加したものの、日韓間の貨物とロシアからの輸入貨物の確保が課題 ③H23.11境港が「日本海側拠点港」に指定された</p>

9

ようこそ ようこそ IJU2千人推進プロジェクト

政策項目	ようこそ ようこそ IJU(移住)2千人プロジェクト						
チーム長	統轄監						
主管部局	企画部						
目標・アウトプット	H26までの4年間で、2000人以上の移住者の受入(年間平均500人以上)						
24年度の取組	<p><目標達成に向けた進め方> ・各分野における移住定住施策と現場とのミスマッチ項目の洗い出し ・現場が必要とする支援と各施策の調整 ・IJUターン希望者、実践者、市町村、関係民間団体等との協働による「新たな連携・支援策」の案の作成</p> <p><平成24年度の取組方針></p> <p>○平成24年度移住定住促進関連施策(31事業)の点検 ⇒ 「利用者が使いやすいか」、「現場の実態を反映しているか」、「不足している部分はないか」など移住定住者の観点から点検</p> <p>○新たな施策展開方向の検討 ⇒ 【検討の方向性】 各部会の民間委員の意見を積極的に取り入れ、現場の実情に即した施策を立案</p> <table border="1"> <tr> <td>住宅等田舎暮らし支援部会</td> <td>就職支援・学生定住部会</td> <td>農林水産業等就業起業支援部会</td> </tr> <tr> <td>・移住支援施策の情報発信・提供のあり方 ・受入側の意識の醸成 など</td> <td>・本県出身学生への県内企業情報等の発信・提供のあり方 ・保護者への県内企業情報等発信のあり方 など</td> <td>・農林水産業における移住定住促進施策の検討 ・移住者向けの起業・創業促進策の検討 など</td> </tr> </table> <p><スケジュール></p> <p>5月…合同ワーキング部会開催(5月上旬で日程調整中) → その後、各WG部会を2ヶ月に1回程度開催 7月…プロジェクトチーム全体会(WG部会代表者、市町村、県)開催予定</p>	住宅等田舎暮らし支援部会	就職支援・学生定住部会	農林水産業等就業起業支援部会	・移住支援施策の情報発信・提供のあり方 ・受入側の意識の醸成 など	・本県出身学生への県内企業情報等の発信・提供のあり方 ・保護者への県内企業情報等発信のあり方 など	・農林水産業における移住定住促進施策の検討 ・移住者向けの起業・創業促進策の検討 など
住宅等田舎暮らし支援部会	就職支援・学生定住部会	農林水産業等就業起業支援部会					
・移住支援施策の情報発信・提供のあり方 ・受入側の意識の醸成 など	・本県出身学生への県内企業情報等の発信・提供のあり方 ・保護者への県内企業情報等発信のあり方 など	・農林水産業における移住定住促進施策の検討 ・移住者向けの起業・創業促進策の検討 など					
これまでの実績	<p>○平成23年度の移住定住者数(暫定値) 506名 (参考)H19~22年度の移住定住者数 1,163名</p>						

10

国際まんが博プロジェクト

政策項目	まんが王国とつとりの展開
チーム長	副知事
主管部局	文化観光局
目標・アウトプット	①県民と一緒にした取組による「国際まんが博」の成功 ・期間 8月4日～11月25日(114日間) ②新たな観光資源、将来に繋がる鳥取発の商品、ビジネスモデル、人材育成の継続展開
24年度の取組 ・取組方針 ・検討スケジュール	①国際まんが博プロジェクトチームによる全般的なPRの取組 ・各所属が実施する会議、イベント、広報媒体でのPR ②広報、誘客活動の積極的な展開 ・3名コラボイラストを最大限活用した広報 ・まんが施設共通入場券による県内周遊の促進 ・市町村民間催事も含めたイベントカレンダーの充実 ・大型誘客キャンペーンの活用、旅行業者を中心とした働きかけ ③県民参画型の「まんが王国とつとり」の推進 ・「まんが王国とつとり」国家戦略プロジェクト推進補助金(申請86件) ・「まんが王国とつとり」応援団事業(個人208人・企業139社) ④「国際まんが博」の取組結果の検証に基づく改善事項などを踏まえた必要な施策を平成25年度当初予算に反映
これまでの実績	国際マンガサミットブレイブイベント補助金(1/2) 17件 まんがアニメ活用補助金(定額・上限額20万円) 10件 第1回国際まんが博プロジェクト会議(4月26日)
	国際まんがコンテスト応募総数 697件 うち海外 204件 (現在審査中)

11

鳥取力創造運動推進プロジェクト

政策項目	鳥取力創造運動の展開
チーム長	未来づくり推進局長
主管部局	未来づくり推進局
目標・アウトプット	①鳥取力実践団体登録数をH26年度末までに200件に増加させる。 ②活動団体の継続的な運営に有効な支援策を構築する。(年次目標:団体等の意見を踏まえた支援策の立案・実施) ③活動団体、企業、行政等が連携するために有効な支援策を構築する。(年次目標:②に同じ)
24年度の取組 ・取組方針 ・検討スケジュール	【取組方針】 ○課題・意見・ニーズの把握(鳥取力創造トーク(総合事務所単位)) →各地域で地域づくり活動を実践する方々と意見交換し課題等を把握 ○新たな施策展開の検討(鳥取力創造運動推進PT) →創造トークで把握した課題等を集約し、全県的視点から県施策に反映 【検討スケジュール】 4月13日…準備会合(各総合事務所と取組内容・方法について意見交換) 5～9月…鳥取力創造トークの実施(総合事務所単位) 9月…第1回鳥取力創造PT(創造トークの課題等集約→県施策への反映を検討) 2月…第2回鳥取力創造PT(新年度の取組方法について意見交換)
これまでの実績	①平成23年度末の鳥取力実践団体登録数104団体(目標まであと96団体) ②鳥取力創造運動支援補助金ネットワーク型・ビジネスモデル創出型を新設(H24当初予算) ③活動団体等のコミュニケーションの場として「応援情報サイト」を拡充(H24 8月)

12

「支え愛」まちづくり推進プロジェクト

政策項目	「支え愛」まちづくりの展開
チーム長	福祉保健部長
主管部局	福祉保健部
目標・アウトプット	<p>【目標】住民誰もが住み慣れた地域で、地域のつながりやふれあいの中、安全・安心に生活が続けられるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①援護の必要な方への「見守り」体制の構築 ②援護の必要な方が「災害時等に速やかに避難」ができる体制の構築 ③援護が必要な方への「在宅生活支援」 ④住民誰もが住み慣れた地域で「安全・安心」に暮らせる生活環境の整備 <p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○支え愛のまちづくり行動指針に沿った具体的な取組の実施 ○地域住民や地域福祉関係者(市町村、社協、NPO、ボランティア団体、自治会等)が、それぞれの特徴を活かしながら、援護が必要な方への適切な支援や支え愛の実践につなげるための「みんなでやらいや、支え愛実践計画(仮称)」を策定。
24年度の取組	<p>【取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○H24策定予定の前記実践計画への意見をいただくため、子育て支援団体等をPT委員に追加。 ○市町村や関係機関等との意見交換・協議を随時実施し、PTではその結果を踏まえた検討を実施。 ○行動指針に掲げた項目のうち、緊急に取り組む必要のある項目については、調整でき次第随時実施。 <p>【検討スケジュール(予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関等との意見交換:まちなかWG、市町村(地域福祉・防災)意見交換(4月)、自主防災組織等との意見交換(5月)、老人クラブ、宅建協会等との見守り協定締結(6月) PT開催:第1回(24年7月)、第2回(24年11月)、第3回(25年3月)
これまでの実績	<p>プレPT(23/5/30):支え愛は概念が広いため、好事例を県下に広めていくスタンスでの検討を開始</p> <p>第1回PT(23/9/14):要援護者を取り巻く現状・地域別課題を認識、各課題テーマ(見守り、災害時避難、在宅生活支援、安全安心な生活環境整備)の設定</p> <p>第2回PT(23/11/22):課題テーマごとの意見交換・検討状況報告、H24予算の方向性の検討</p> <p>第3回PT(24/3/23):支え愛のまちづくりの行動指針案の検討、H24予算への反映状況報告</p>

13

ボランティア・市民活動推進プロジェクト

政策項目	ボランティア活動等の推進、シニア人財活用
チーム長	未来づくり推進局長
主管部局	未来づくり推進局
目標・アウトプット	○総合ボランティアバンク、シニア人財バンクなど、県民のボランティア参加のシステムを構築する。
24年度の取組	<p>【取組方針】</p> <p>○平成25年度にボランティア・市民活動を総合的に支援する体制を整備するため、ボランティアシステム検討PTを「ボランティア・市民活動推進PT」と発展させた上で、以下の3つのワーキンググループを設置し、より具体的な機能等について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合ボランティアバンク検討WG(機能拡充部分) ②総合ボランティアセンター検討WG ③市民活動センター検討WG <p>【検討スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチーム:年2回開催予定(5月、12月頃) ・各ワーキンググループ:年4~5回程度開催予定(5月~11月)
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> ○とっとりシニア人財バンクを含む総合ボランティアバンクの構築(H24 8月公開予定) ○ボランティア活動だけでなく、<u>市民活動全体の活動基盤強化等を支援する体制</u>を整備するための検討に発展 ○ボランティア活動推進に向けて必要とされる<u>主な役割</u>を確認 :一元的窓口、既存ボランティアセンターとのネットワーク化・連携の強化等

14

原子力安全対策プロジェクト

政策項目	危機管理強化など安心のふるさとづくり
チーム長	知事
主管部局	危機管理局
目標・アウトプット	原子力防災体制の計画的整備(ハード面、ソフト面)、平成25～26年度を目指す
24年度の取組 ・取組方針 ・検討スケジュール	<p>1 取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 島根原子力発電所にかかる原子力防災体制を全庁的体制で進め、早期に防災体制を段階的に計画的に整備する。 ② PT会議、WG、幹事会により取組を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ PT会議 →原子力防災体制整備の総合推進、総合調整、進捗管理 ・ WG(避難、被ばく医療等) →各整備案件の計画・実施 ……WG毎の責任で整備を実施 ・ 幹事会 →WG間の総合調整、諸課題の整理 <p>2 スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> - 全般スケジュールを定め、強弱をつけて計画的に整備 - 4/26(木) 幹事会 - 5/9(水) #1PT会議 ……#2(10月頃)、#3(3月頃) - 5/11(金) 福島県へ調査チーム派遣 - 6月頃 原子力防災専門家会議(予定)
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年度設置PT 避難計画策定PT、原子力安全対策PT ・ 4月の原子力安全対策室設置 <p>→平成24年度に、原子力安全対策PTに一本化</p>

15

鳥取県民参画基本条例検討委員会

政策項目	県民参画基本条例制定へ						
チーム長	未来づくり推進局長						
主管部局	未来づくり推進局						
目標・アウトプット	鳥取県民参画基本条例案の策定(概ね2年間での作業予定)						
24年度の取組 ・取組方針 ・検討スケジュール	<p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7回検討委員会(4/17)より住民投票制度の制度設計について議論を開始 ・発議権者、投票資格者、住民投票に諮る項目等、住民投票制度の骨格に係る部分について特に重点的に議論を予定 ・議論をもとに、8月頃を目処に検討委員会から中間報告 ・中間報告をもとに、県がパブリックコメント、県民説明会等を開催し、広く県民の意見を集約 <p>○検討スケジュール</p> <table border="0"> <tr> <td>8月頃</td> <td>検討委員会から中間報告の提出 パブリックコメント、県民フォーラム、県民説明会等の実施</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>最終報告</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>平成25年2月定例会への条例案提出を目指す</td> </tr> </table>	8月頃	検討委員会から中間報告の提出 パブリックコメント、県民フォーラム、県民説明会等の実施	12月	最終報告	2月	平成25年2月定例会への条例案提出を目指す
8月頃	検討委員会から中間報告の提出 パブリックコメント、県民フォーラム、県民説明会等の実施						
12月	最終報告						
2月	平成25年2月定例会への条例案提出を目指す						
これまでの実績	<p>○既存広聴制度の改善案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な意見をくみ取るため複数の広聴制度(出前説明会、アンケート等)を組み合わせるべき ・主要な条例や計画の制定改廃の際は、原則パブリックコメントを実施すべき ・審議会等については、原則、公募委員を入れるとともに、県民が参加しやすいよう、土日・夜間の開催などの配慮も必要 <p>○新たな手法としての住民投票制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設型住民投票制度の導入を前提として、制度設計について議論を開始した 						

16

県庁改革推進プロジェクト

政策項目	お役所主義の打破と筋肉質で効率的な県庁づくり
チーム長	副知事
主管部局	総務部
目標・アウトプット	<ul style="list-style-type: none"> ○2年間で達成した時間外縮減水準の維持を全庁の基本目標としつつ取組を重点化 ○全所属がカイゼンに取り組み、書類を30%削減、事務用品を1/3に削減 ○笑顔があふれ、あいさつの響く職場づくり
24年度の取組	<p>○スマート県庁 笑顔拡大プロジェクト ⇒県庁改革の第2ステージとして、5・5プロジェクトの成果と課題を踏まえ、更に職員の意欲を引き出す取組を進め、モチベーションあふれる職場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果の上がっていない所属(人)等に対し、時間外縮減や業務の効率化を重点指導 ・カイゼンの定着化、「仕事の見える化」の全庁展開、県庁基幹業務(財務会計、税務、給与)刷新プロジェクト ・カイゼン活動の推進に向けたカイゼントップセミナーの開催、職場づくりを考えるワークショップの実施、あいさつ運動の再徹底、全庁的なスポーツ大会の開催、社会貢献活動の推進
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> ○時間外縮減:H23総時間数▲44%(対H21) ○カイゼン全庁発表会の優勝チームを全国大会に派遣(H22から2回目) ⇒全国カイゼンネットワーク(三重県、京都府等)に参加 ○見える化パイロット職場の取組実績(行財局、医療指導課):書類削減率▲30%(対H22) ○事業棚卸し:削減総額▲59百万円(H24予算措置状況) ○スポーツ大会:全所属の1/2以上のチームが参加(H23) ○座席表のスマイル化:本庁の75%(H23)

17

政策項目の進捗状況（1年目自己評価（暫定版））

～評価区分別～

(合計 104項目)

評価の分類	項目数	主な政策項目
A：既に達成	6	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 少人数学級対象学年を拡充 ✓ 全国豊かな海づくり大会 5万人の来場 ✓ 鳥取環境大学の抜本改革 ✓ 拉致問題の早期解決を政府に要望
B：順調(達成に向け順調に成果が出つつある)	67	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「透明度全国ナンバーワン県庁」の維持 ✓ 食のみやこセンター協力店舗1千店の実現 ✓ 高速道路整備を着実に推進 ✓ 農林水産業へ4年間で500人以上就業 ✓ 「あいサポート運動」10万人体制 ✓ 緊急豪雨対策が必要な59箇所の砂防事業を完遂 ✓ 4月1日待機児童ゼロを継続 ✓ 赤崎高校跡地に高等特別支援学校を開校(H25) ✓ スポーツツーリズム・エコツーリズムの振
C：やや遅れている(取り組みは進めているが、成果が一部に留まるなど取組強化が必要)	29	<ul style="list-style-type: none"> ✓ EV工場開業やバイオ企業立地による県内経済高度化 ✓ 全国平均を上回る有効求人倍率を達成 ✓ 国内航空路線等の拡充 ✓ 「鳥取ふれあい共生ホーム」の全県的展開 ✓ 財政状況をにらみながら美術館整備について検討
D：遅れている(成果が出ていない。または取組が進められていない)	2	<ul style="list-style-type: none"> ✓ がん検診の受診率向上とがん死亡率の改善 ✓ 大学進学率を50%に引き上げ

18

政策項目の進捗状況（1年目自己評価）

～ 数値目標の状況 / 既に実現したもの～

数値目標	達成状況
200人を目標として 地域消費生活サポーターを養成	22年度末:68人 → 23年度末:210人
家庭教育推進協力企業を500社に拡大	22年度末:416社 → 23年度末:533社
鳥取環境大学を公立大学として、 平成24年度に新たなスタートを切る	24年4月 公立大学法人鳥取環境大学設立
小水力発電導入も含め、自然エネルギー発電 量を10万kw台へ上昇	22年度末:92,863kw → 23年度末:164,039kw
全国豊かな海づくり大会で 5万人の来場を目指す	来場者54,178人

19

政策項目の進捗状況（1年目自己評価）

～ 数値目標の状況 / 順調に推移しているもの(1/2)～

数値目標	達成状況
鳥取力実践団体登録数を200団体へ	22年度末:65団体 → 23年度末:104団体
「透明度全国ナンバーワン県庁」の地位を堅持	22年度:「情報公開度ランキング」1位 → 23年度:同1位
食のみやこサポーター協定店舗を県外も含めて1千店を実現	22年度末:734店 → 23年度末:814店
企業立地100件を目指す	23年度末:41件 (23年4月～)
農林水産業へ4年間で5百人以上新規に就業することを目指す	23年度末:239人
あいサポーター10万人体制を目指す	22年度末:25,000人 → 23年度末:61,671人

20

政策項目の進捗状況（1年目自己評価）

～ 数値目標の状況／順調に推移しているもの(2/2)～

数値目標	達成状況
緊急豪雨対策が必要な59箇所の砂防事業を完遂	22年度末:25箇所 → 23年度末:44箇所
4月1日待機児童ゼロを継続	22年度:ゼロ → 23年度:ゼロ
男女共同参画推進企業を500社に拡大	22年度末:398社 → 23年度末:455社

21

政策項目の進捗状況（1年目自己評価）

～ 数値目標の状況／さらなる努力が必要なもの～

数値目標	達成状況
道路・河川の環境美化などを行うスーパー・ボランティア協定の件数を倍増	22年度末:8件 → 23年度末:9団体
全国平均を上回る有効求人倍率を確保	23年3月:0.74倍 → 24年3月:0.69倍 (全国0.63倍) (全国0.76倍)
北東アジアゲートウェイを推進し、リサイクル貨物を5倍増	22年末:約2万t → 23年末:約2万t
大学等進学率を50%に引き上げ	22年4月:45% → 23年4月:43.9%
中海や湖山池などの水質改善(COD値)	湖山池 21年度末 :6.2mg/l → 22年度末 :7.0mg/l 東郷池 " :5.6mg/l → " :5.7mg/l 中 海 " :5.9mg/l → " :5.3mg/l

22

国際まんが博発表会見・まんが王国とつとり王女即位式典の開催について

平成24年5月21日
未 来 戦 略 課
まんが王国官房
東 京 本 部

東京都内において、国際まんが博発表会見・まんが王国とつとり王女即位式典を実施しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

記

1 日時 平成24年5月17日（木）午前11時から12時まで

2 場所 グランドプリンスホテル新高輪 3階「天平」（東京都港区高輪3-13-1）

3 内容 ○平井伸治鳥取県知事による主催者挨拶、国際まんが博概要説明
○まんが王国とつとり トットリンドル王女登場
○トークショー、写真撮影会

4 イベントのメディアでの露出状況

○在京主要キー局、新聞社、雑誌社など、約50社から約100名が取材した。
○日本テレビ系列「PON！」、フジテレビ系列「知りたがり！」など、全国ネットのテレビ番組にて放送されるなど、国際まんが博のアピールに大きく寄与した。

5 会場の様子



6 その他

○トットリンドル玲奈さんを、同日とつとりふるさと大使に委嘱した。
○今後、鳥取県の観光やイメージアップの広報に御協力いただくほか、首都圏や県内での国際まんが博関連の主要行事もPRしていただく予定です。